

サハリン州運輸事情

2020年9月現在

1 サハリン州の概況

- (1) サハリン州はロシア極東に位置し、ロシア国内最大の島であるサハリン島のほか、千島列島及び北方領土を管轄している。サハリン州の人口は48万8,275人（2020年1月1日現在）¹、面積は約87,100km²である。

サハリン島は南北に伸びる細長い島であり、南北方向に約948km、東西方向の最大幅約160km、最狭部は約26kmである。

州都ユジノサハリンスク市は、州内最大の都市であり人口は20万636人、第2位のコルサコフ市は3万4023人である（2020年1月1日現在）²。

- (2) サハリン島、千島列島及び北方領土への運輸に関しては、海上及び航空輸送に頼らざるを得ず、サハリン州外からの旅客輸送は航空機利用が90%以上を占めている³。

しかし、夏季は濃霧、冬季には吹雪により何日も空港が閉鎖されることが多く、また、流氷の接近により船舶の航行が阻害され、大陸や各諸島間の交通が完全に遮断されることがある。



図1 サハリン島周辺図（Googleマップを一部加工）

¹ 連邦統計庁 2020 年 3 月 13 日発表 «Оценка численности постоянного населения на 1 января 2020 года и в среднем за 2019 год»

² 連邦統計庁 2020 年 4 月 23 日発表 «Численность постоянного населения Российской Федерации по муниципальным образованиям на 1 января 2020 года»

³ サハリン州政府 HP «воздушный транспорт»

2 サハリン州の行政機構

サハリン州は極東連邦管区に属し、サハリン州政府により地方自治が行われ、ロシア大統領及び中央政府から示された政策を実現している（図2）。

運輸関係機関としては、サハリン州政府内に設置された「サハリン州運輸・道路事業省（略称：サハリン州運輸省）」が航空・鉄道・海運・自動車・道路に関する地域政策の策定及び実施を所掌している⁴。

また、「自動車等国家監督局」が農業用トラクター・道路建設車両・トレーラー車両等の検査、登録を所掌している⁵。

一般乗用車の登録業務は、内務省（警察）傘下の「サハリン州交通警察」が所掌している。

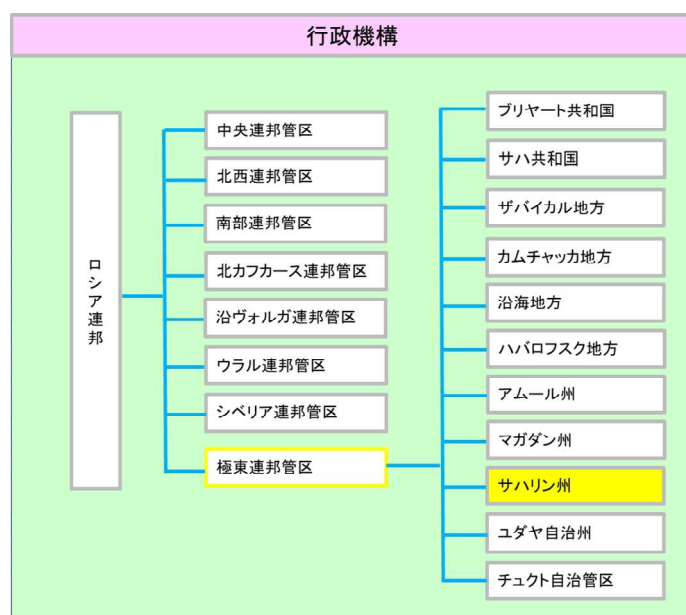


図2 行政機構について（ロシア大統領府HPをもとに作成）

3 航空

（1）就航路線

サハリン島の主要空港はユジノサハリンスク空港（別名：ホムトヴォ空港）であり、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大前には、同空港から成田、新千歳、ソウルへの定期国際線が運航されていたほか、季節チャーター便としてバンコク、プーケット、カムラン便等が就航していた。

定期国内線は、モスクワ、ノヴォシビルスク、ヤクーツク、ブラゴベシ

⁴ サハリン州政府 HP «Министерство транспорта и дорожного хозяйства Сахалинской области»

⁵ サハリン州政府 HP «Государственная инспекция по надзору за техническим состоянием самоходных машин и других видов техники Сахалинской области»

エンスク、ハバロフスク、ウラジオストク、ペトロパブロフスク - カムチャツキーのほか、サハリン島内の小規模空港であるオハ、ノグリキ、シャフチョルスクに加え、国後島（メンデレーエフ空港）及び択捉島（ヤースヌイ空港）を結ぶ便が就航している。



図3 ユジノサハリンスク空港路線図
（株式会社ユジノサハリンスク空港HP画像を一部加工）

都市	距離	所要時間
モスクワ	10,000km	9時間00分
ハバロフスク	590km	1時間20分
ウラジオストク	950km	1時間50分
札幌	450km	1時間20分（プロペラ機）
成田	1,250km	2時間20分

表1 ユジノサハリンスクと各都市との距離及び飛行時間

（2）空港設備等

ユジノサハリンスク空港は現在、ターミナル建替工事中である（写真1）。

択捉島にはこれまで使用してきたブレヴェスニク空港に代わり、2014年に新たにイトゥルプ空港（のちにヤースヌイ空港と改名）が建設、供与されており、2016年には、夏季の濃霧による航空機の欠航対策として、最新の計器着陸装置（ILSカテゴリー3）が設置されている。

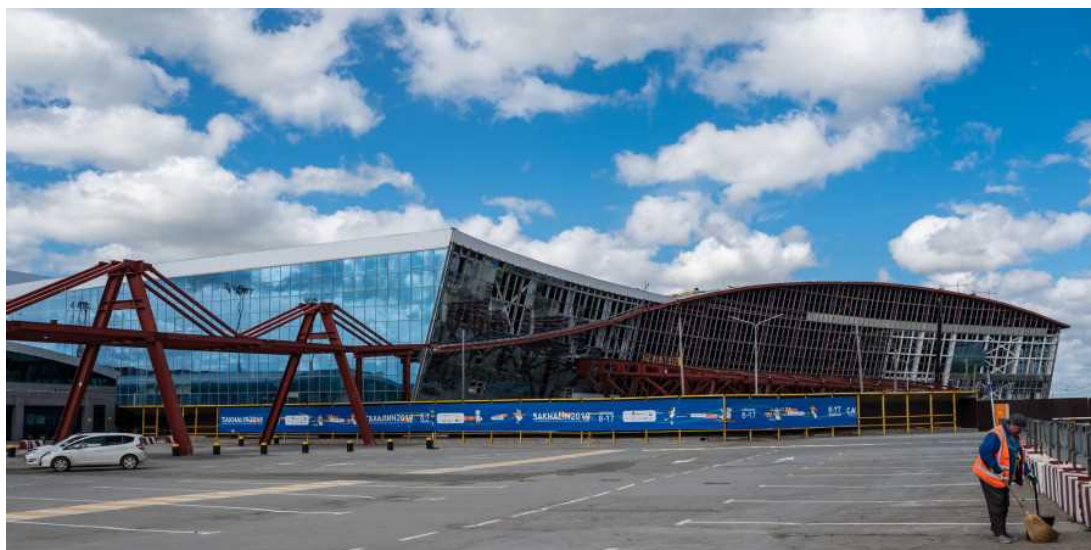


写真1 建設中のユジノサハリンスク空港新ターミナル
（株式会社ユジノサハリンスク空港HPから）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
旅客（人）	849,211	942,730	985,211	1,064,853	1,209,161
貨物（トン）	10,683.02	10,559.03	10,556.14	10,483.65	10,298.31

表2 ユジノサハリンスク空港の旅客・貨物輸送量⁶

⁶ 連邦航空局 «Обслуживание перевозок через аэропорты России за январь-декабрь 2015-2019»

空港名	滑走路 ⁷	主な就航機材 ⁸
ユジノサハリンスク (ホムトヴォ)	3,400m×1	A-319、A-330-300、 B-777-300 DHC-8(-200, 300, 400)
オハ	1,300m×1	DHC-8(-200, 300, 400)
ノグリキ	1,750m×1	DHC-8(-200, 300, 400)
シャフチョルスク	1,625m×1	DHC-8-300
メンデレーエフ (国後島)	2,056m×1	DHC-8-400
ヤースニィ(択捉島)	2,300m×1	DHC-8-400

表3 サハリン島及び北方領土の主な空港

4 鉄道

(1) 路線概要

鉄道はサハリン島内にのみ存在する。

サハリン島内の鉄道は、公開株式会社「ロシア鉄道」の1支社である株式会社「極東鉄道」内の「サハリン地域局」により運行管理されているが、そのうち旅客部門は株式会社「サハリン旅客会社」が担当している⁹。

路線は3つに分けられ、島内を南北に縦断するコルサコフ～ノグリキ線、南西部沿岸のシャフタ～イリンスク線、これらを接続するイリンスク～アルセンチェフカ線であり、総延長は804.9km、全線非電化である¹⁰。

また、サハリン島南西部のホルムスク港とロシア本土のワニノ港の間には、鉄道車両搭載可能なカーフェリーが就航しており、これによりシベリア鉄道及びアムール・バム鉄道とサハリン島内の鉄道が結ばれている。

そのほか、サハリン島で産出される石炭がホルムスク及びネヴェリスク港まで輸送されている。

(2) 軌道広軌化工事

サハリン島南部の鉄道は日本統治時代に狭軌(1,067mm)で敷設されており、第二次世界大戦終結後のソ連統治時代もそのまま狭軌で運用されていた。一方、ロシア本土の鉄道はロシア規格の広軌(1,520mm)であったため、

⁷ 連邦航空局 «Карта аэродрома»

⁸ 各航空会社 HP から

⁹ 株式会社極東鉄道 HP «История дороги»及び株式会社サハリン旅客会社 HP «О компании»

¹⁰ 株式会社極東鉄道 HP «Сахалинское территориальное управление»

鉄道車両をワニノ港～ホルムスク港間で航送する場合は、その都度台車交換が必要であった。また、サハリン島内の鉄道施設の老朽化が進んでいたことから、2003年からサハリン島全域で順次、ロシア規格広軌（1,520mm）への改軌準備工事が行われ、特に2018年から2019年にかけては、列車を一部運休させるなどして集中的に改軌工事が行われたほか、鉄道車両の更新が行われた。2020年に全区間の改軌作業終了が予定されている。

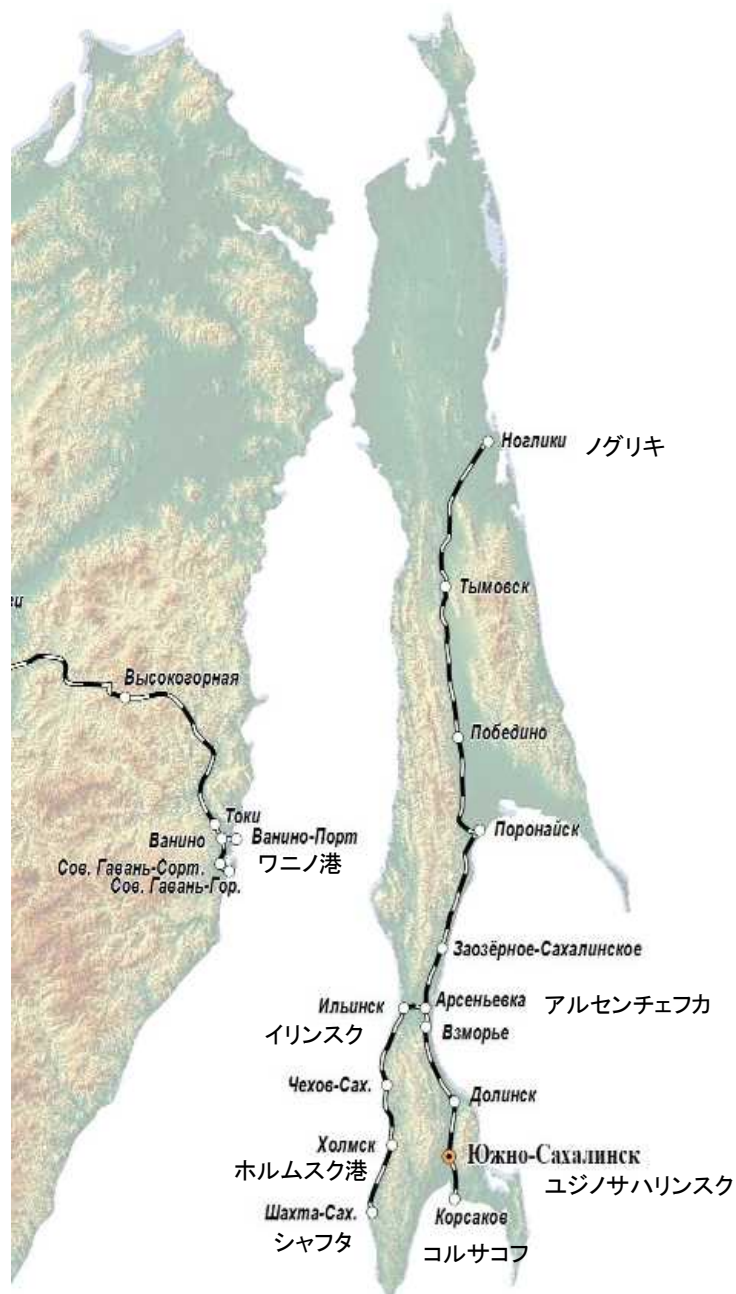


図4 鉄道路線図

（極東鉄道株式会社HP「Место в транспортной системе」を一部加工）



写真2 改軌作業

(2019. 7. 26 SKR.SU Сахалин и Курилы «Широкая «железка» опутывает Сахалин»)



写真3 新型気動車

(2019. 8. 30 SAKH.COM «Сахалинские рельсобусы прошли обкатку и готовы возить пассажиров»)



写真4 石炭輸送列車

(2020. 7. 31 SAKH.COM «На Сахалине перешли последнее "узкое место" на железной дороге»

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
旅客（千人）	704	713	738	636	514
到着貨物（千トン）	1549	1460	1560	1481	1718
発送貨物（千トン）	1137	1058	1207	1120	1271

表4 サハリン州の鉄道旅客・貨物輸送量¹¹

5 自動車

（1）道路概要

サハリン州内の道路総延長は4,852.1kmであり、連邦政府が所有する道路（連邦道路）は112km、州政府が所有する道路（州道路）は1,549.6km、地方自治体が所有する道路（自治体道路）は3,190.5kmである。

連邦道路であるコルサコフ～ユジノサハリンスク～ホルムスク間の112kmは全区間アスファルト等で舗装されている。

州道路3,190.5kmのうち、舗装区間は1,006.8kmであり、残りは未舗装道路である。

¹¹ 連邦統計庁 «Основные итоги работы транспорта»

自治体道路1,549.6kmのうち、アスファルト舗装部分は53.6%である¹²。
一部未舗装区間もあるが、サハリン島南部のコルサコフからユジノサハリンスクを經由して北部のオハまでの約900キロ及びユジノサハリンスクと西部のホルムスクを結ぶ約100キロの道路が主要幹線として整備されている他、島内に点在する各都市間を結ぶ道路も整備されている。
また、アスファルト舗装道路の一部では、日本企業が技術協力を行っている区間もある。

サハリン島内の各都市では、ロシアの慣習上、事故車両は警察等による処置が終わるまで一切移動出来ないこと、また、駐車場の整備が不十分のため路上駐車が常であることから交通渋滞が発生しやすく、冬期には道路除雪作業の障害となっている。

(2) 交通概要

サハリン島南部の自動車交通は比較的活発であるが、サハリン島中部から北部にかけては都市間距離が長く、集落も疎らとなり、交通量が極端に減る。

移動手段としては、バスが一般的であり（大型バスから10名乗り程度のジャンボタクシー様の大きさの車両まで多様）、主要都市内の循環バスのほか都市間バスも運行されているが、都市間バスは遅延、運休が頻繁に発生している。

市内の循環バスは決まった時刻表はないものの運行台数が多く、10 から 15 分間隔で運行されているため、それほど待たずに利用できる。また市内のみの移動は料金が一律 22 ルーブル(約 40 円)と、タクシー料金に比べ相当割安(タクシーの市内移動料金は通常 200～500 ルーブル程度(400～1,000 円程度)であるため、市民の普段の足として欠かせない存在である。市内循環バスの一部は天然ガスで動く車両が配備されている。

サハリン州内では自家用自動車が普及しており、日本と逆の右側通行ながら自家用車の大部分は日本製の中古車(右ハンドル)である。なお前述のとおり道路整備が十分ではないことからRV車のような悪路走破能力の高い四輪駆動車が非常に多い。

6 海運

(1) 港湾概要

サハリン島内には主要港として、コルサコフ、ホルムスク、ネヴェリスク、プリゴロドノエ港があり、いずれも不凍港である。

¹² サハリン州政府 HP «Дорожное хозяйство»

①コルサコフ港

ウラジオストク、ボストーチニィ、プサン港間でコンテナ船が就航している。また、択捉島のクリリスク（紗那）、国後島のユジノクリリスク（古釜布）、色丹島のマロクリリスク（色丹）を順次結ぶ貨客船が1隻就航している（総所要時間約45時間）。しかし、老朽化のため、現在、サンクトペテルブルグの造船所にて代替船を2020年12月竣工に向け建造中である（写真5～7）。



写真5 コルサコフ港（サハリン・クリル・カムチャッカ海洋港局HPより）



写真6 コルサコフ～国後島・択捉島・色丹島航路貨客船
「イーゴリ・ファルフトディノフ (IGOR FARKHUTDINOV 総トン数4,575トン)」
(2020.9.8 SAKH.COM «В заливе Анива провели антитеррористические учения»)



写真7 代替新造船「パーベル レオノフ (PABEL LEONOV)」
(2020.7.23 SKR.SU Сахалин и Курилы «Судно «Павел Леонов»,
строящееся для Сахалина и Курил, выкатили на открытую платформу»)

②ホルムスク港

北港と南港がある。南港とワニノ港間で鉄道車両も搭載可能なRo-Ro船3隻が通年就航している（航海距離約260km、所要時間15～18時間、1日3便）。こちらも老朽化のため、現在、コムソモーリスカヤ - ナ - アムーレにある造船所にて代替船2隻が2022年就航に向け建造中である（写真8～10）。石炭積出港としても利用されている。



写真8 ホルムスク南港（サハリン・クリル・カムチャッカ海洋港局HPより）



写真 9 ワニノ～ホルムスク航路 Ro-Ro 船「サハリン - 8 (SAKHLIN-8 総トン数 9,420 トン)」(サハリン海洋汽船 HP から)



写真 10 ワニノ～ホルムスク航路 Ro-Ro 船完成予定模型
(2019.2.25 Хабаровский край сегодня «Паром для Сахалина назовут в честь первого русского дзюдоиста»)

③ネヴェリスク港

主に漁業活動に利用されているが、防波堤、岸壁等の港湾施設は老朽化が目立ち、防波堤にあってはケーソンが壊れ、防波堤の役目をなしていない部分も見受けられる。石炭積出港としても利用されている。

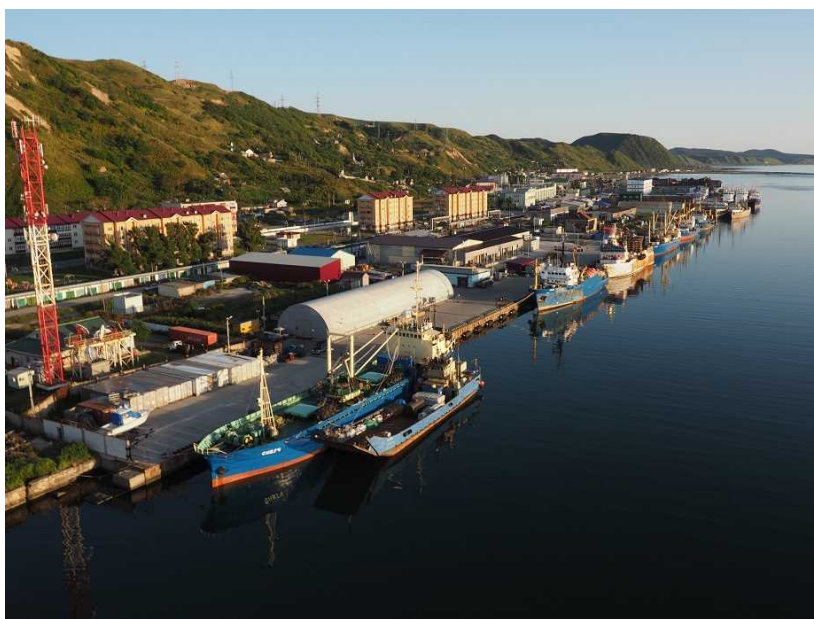


写真11 ネヴェリスキ港（サハリン・クリル・カムチャッカ海洋港局HPより）

④プリゴロドノエ港

コルサコフ港から東約10kmに所在する。サハリン島北部沖で採掘された石油・天然ガスの搬出基地があり、東京ガス、東京電力、東北電力、北海道電力などの日本のガス・電力会社が天然ガスを購入し、同基地から千葉、新潟、北海道などに所在する各LNG（液化天然ガス）基地にLNGを輸送している。



写真12 プリゴロドノエ港（サハリン・クリル・カムチャッカ海洋港局HPより）

サハリン島内にはその他、ポロナISK、ウグレゴルスク、シャフチョルスク、アレクサンドロフスク・サハリンスキー、モスカリヴォ等にも港があり、貨物・石炭輸送、漁業活動に利用されている。

択捉島クリリスク（紗那）のキトヴィ地区（内岡）では、2007年より貨客船の離着岸が可能となる埠頭建設が進められ、2014年から本格運用となり¹³、前述のコルサコフからの貨客船が就航している。



写真13 クリリスク港（キトヴィ地区）
（サハリン・クリル・カムチャツカ海洋港局HPより）

（2）サハリン島と日本を結ぶフェリーについて

近年におけるコルサコフ～稚内間のフェリーについては、日本企業である「ハートランドフェリー」が、1998年から2015年までの間、夏季（おおむね5月～9月）に「アインス宗谷」（総トン数2,267トン）を運航していた。

2016年からは、サハリン海洋汽船（SASCO）がチャーター、運航する双胴船「ペンギン32（ペンギン33）」（総トン数270トン）が夏季（7月～9月）のみ運航されていたが2018年の運航をもって休止となり、現在就航するフェリーはない。

¹³ SakhalinMedia 2014.8.5 «Современный портпункт построили на курильском острове Итуруп»